

平成 22 年度

地球温暖化対策計画・実施状況報告

1 地球温暖化対策事業者の概要

(1) 事業者の類別

類別	
I 類	特定種別には I、II、III、IV類を入力 I 類 1500 kL未満の事業所のみを複数有し、合算で1500 kL以上となる特定事業者 II 類 1500 kL以上の事業所を1つ以上有する特定事業者 III 類 3年連続して1500 kL以上の事業所を1つ以上有する特定事業者 IV 類 (任意) 1500 kL未満の事業所のみを有し、合算して1500 kL未満となる事業者

(2) 地球温暖化対策事業者

事業者名	株式会社 アレフ
所在地	北海道札幌市白石区菊水6条3丁目1-26
事業者番号	※初回提出時に県で付与
燃料等使用量の原油換算の合計量(前年度)	1,736
店舗面積(該当する場合)	
産業分類名(中分類)	飲食店
分類番号(中分類)	76
事業活動の概要 (事業内容、従業員数、資本金等)	ハンバーグ専門レストラン「びっくりドンキー」をはじめとする外食チェーン本部。昭和43年創業、昭和51年設立。資本金4億4261万円。売上高367億円(22年3月期決算)。従業員は社員717名、パート2849名。
商標又は商号 (連鎖化事業者のみ)	びっくりドンキー

(3) 地球温暖化対策推進者(事業者で1人以上)

所属部署	電話番号
省エネ推進チーム	0123-34-5338

(4) 県内に設置している事業所

※書ききれない場合は別添としてください。

事業所番号 ※初回提出時に県で付与	事業所名	前年度のエネルギー 原油換算使用量(kL)
単独で1500kL以上の事業所		
1500kL未満の事業所の合算		
		1736
合計		1,736

(5) 公表方法

<input checked="" type="checkbox"/> インターネット利用による公表	アドレス	http://www.aleph-inc.co.jp
<input type="checkbox"/> 埼玉県内の事業者又は事業所での備え置き (複数可 書ききれない場合は別様としてください)	閲覧場所 1	
	所在地 1	
	閲覧可能時間 1	
	閲覧場所 2	
	所在地 2	
	閲覧可能時間 2	
<input type="checkbox"/> その他		

(6) 公表の担当部署

名称 (複数可)	連絡先		
	電話番号	FAX番号	E-mailアドレス
1 広告宣伝室	011-824-5314	011-824-9266	k.kondo@aleph-inc.co.jp
2			
3			

2 地球温暖化対策推進における基本方針 ※事業所ごとに定める場合は、事業所用に記載する旨を記載

私たちは
 持続可能な循環型社会に貢献することを目的に
 地球環境への負荷の低減のため
 全員がその日常における行動を通し
 環境を守り、育て、回復させ、
 環境と共生する文化の体現者となることを目指します。

3 地球温暖化対策における推進体制 ※事業所ごとに定める場合は、事業所用に記載する旨を記載

本部に省エネルギー推進専門部署を設置し、店舗・事業所の省エネルギー推進に努めている。

4 計画期間中における事業者の温室効果ガス排出量の推移

CO₂換算（t-CO₂）

	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
エネルギー起源CO ₂	2,996	2,951	2,906	2,863	2,820
非エネルギー起源CO ₂	0	0	0	0	0
その他温室効果ガス	0	0	0	0	0

5 各事業所の計画

別紙 事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告 のとおり

No	対策の区分		対策名称	実施時期	備考	
	区分番号	区分名称				
		大区分				中区分
1	110100	一般管理事項	11_推進体制の整備	目標と取り組みポイントについての説明を店長会議にて行う	平成13年度より実施	
2	110300	一般管理事項	11_計測及び記録の管理	エネルギーモニタリングシステムの導入	平成19年度より実施	12店舗導入済み
3	110400	一般管理事項	11_エネルギー使用量の管理	毎週と毎月のエネルギー量の検針、および請求書データの確認	平成13年度より実施	
4	110400	一般管理事項	11_エネルギー使用量の管理	エアコンの入替（CO2排出量を検討のうえ機種選定）	平成13年度より実施	平成21年に1店完了、22年に1店予定。
5	130100	空調設備・換気設備	13_空調和の運転管理	時系列の室温チェックによる最適運転状態の管理	平成19年度より実施	
6	130200	空調設備・換気設備	13_空調設備の効率管理	定期的なフィルター清掃の指導	平成18年度より実施	
7	130300	空調設備・換気設備	13_換気設備の運転管理	運転時間を最適化する指導	平成13年度より実施	
8	140100	給湯設備、給排水設備、冷凍冷蔵設備、厨房設備	14_給湯設備の管理	給湯ライン別の給湯器本体の温度設定	平成21年度より随時	
9	150200	受変電設備、照明設備、電気設備	15_照明設備の運用管理	エネルギーモニタリングシステムによる照明の運用管理	平成19年に実施	
10	150200	受変電設備、照明設備、電気設備	15_照明設備の運用管理	電球型蛍光灯への入替	平成19年度より実施	平成21年までに4店舗導入済み。今後調光設備のない店舗について検討中。
11	170200	負荷平準化	17_コージェネレーション	燃料転換（LPガス→都市ガス）および天然ガスマイクロコージェネレーション導入	平成21年より実施	平成18年に1店、19年に2店、21年に3店、計6店導入済み。22年度は1店舗検討中。
12	310400	一般管理事項	31_エネルギー使用量の管理	毎日のエネルギー量の検針、および請求書データの確認	随時	
13						
14						
15						

(1) 温室効果ガスの推移

CO₂換算 (t-CO₂)

※1	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
基準年 ※2								○
燃料等使用量の原油換算量 (kL)	0	0	0	0	0	0	0	1,736
エネルギー起源 CO ₂	0	0	0	0	0	0	0	3,041
非エネルギー起源 CO ₂	0	0	0	0	0	0	0	0
その他温室効果ガス								
メタン	0	0	0	0	0	0	0	0
一酸化二窒素	0	0	0	0	0	0	0	0
ハイドロフルオロカーボン	0	0	0	0	0	0	0	0
パーフルオロカーボン	0	0	0	0	0	0	0	0
六フッ化硫黄	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	0	3,041

※1 遡れる範囲の年度 (H14以降) について記入

※2 基準年は任意で選択

(2) 原単位

CO₂換算 (t-CO₂/百万円)

※1	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
基準年 ※2								○
エネルギー起源 CO ₂ 排出量原単位								0.6712
活動規模の指標	<input type="radio"/> 生産量	〇〇あたり						
	<input type="radio"/> 出荷額	〇〇あたり						
	<input type="radio"/> 従業員数	〇〇あたり						
	<input type="radio"/> 床面積	〇〇あたり						
	<input checked="" type="radio"/> (売上高) (※自由記載)	百万円あたり						

※1 遡れる範囲の年度 (H14以降) について記入

※2 基準年は任意で選択

※希望者のみ記載

全16事業所のうち直営14事業所では、以前から省エネルギー対策を進めており、H17年度比H21年度までにCO2排出総量で10.8%（324t-CO2）削減を達成しています。

21年度に行った主な対策は以下のとおりです。

1. 店長会議等の社内会議において、省エネルギー・節水のポイントとエネルギーモニタリングシステムの活用法を説明し、省エネルギーの推進に努めている。

2. LPガス使用店舗の都市ガスへの燃料転換と天然ガスコージェネレーションの導入を進め、21年度に3店舗導入。

3. 老朽化した空調設備を入替え、高効率の製品を導入。1店舗。